

# 市政を問う！

## 一般質問

9月定例会では、19・20・24日の3日間で15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



議長 大石 幸一



## 一般質問

比企孝司 議員（新翔会）

### 震災時の給水をどうする



録画配信

**議員** 震災時、水道の復旧までの給水対応・供給についてはどのようなか。

**水道部長** 震災時の水の供給設備としては、市内全小・中学校に非常用応急給水栓を整備しているほか、市内全ての指定避難所に貯水容量1トンの組立式応急給水タンクを配備し、給水車による運搬、応急給水を行うこととなる。しかし、震災直後には配水管が破損していても、地震の大きな揺れの影響や停電等に伴う配水圧力の変化等により、供給水に濁りが発生し、水の利用が制限されることや、道路状況によっては給水車の運用に時間を要すること等も懸念される。市では市民に3日

分以上の水や食料の備蓄を呼びかけているほか、市としても備蓄水確保している。

### 水道事業について

**議員** PFOSとPFOAはPFAS（有機フッ素化合物）の一種である。本市の水質検査結果は、アメリカの厳しい基準値と比較してどうか。

**水道部長** 本市は、PFOSとPFOAの合算値で出しているため、一概に比較できないものの、今年度実施した検査結果からはアメリカの基準値を下回ると推測できる。

### 公共施設の改修計画について

**議員** 公共施設で、雨漏りの状態を把握している施設はどこか。

**総務部長** 図書館、第一中学校、塚越小学校、西小学校、南小学校で雨漏りを把握している。

**議員** 雨漏りは建物の劣化に



ひき こうじ

拍車をかけられると思う。雨漏りが発生しない状態にしておくことは必要最小限であり、急いで対応していただくことを要望する。

施設改善を進めるための補助金等の申請状況はどうか。また、本市の意向等を伝えるために、市長が自ら陳情しに国・県へ赴く事例はあるか。

**総務部長** 補助金等は各担当部署において内容を精査し、必要に応じて申請をしている。また、総括的に様々な情報の収集に努めている。

**市長** 固有の課題等について本市独自の状況を訴えていくために、直接国・県等に行ったり、いろいろな機会を通じて要望してきた。これまで補助金等を積極的に活用することを重視してきており、これからのいろいろな方法を通じて、財源確保に努めていきたい。

**ほかに** 「児童・生徒の学習用タブレット端末の利用等」について質問。

## 市民体育館アリーナの エアコン設置について



録画配信

**議員** 昨年9月の一般質問でも要望したが、年々暑さが厳しくなる中、子どもから高齢者まで、各種団体が使用する市民体育館3階アリーナへのエアコン設置をどのように考えるか。

**教育部長** 近年の猛暑により熱中症の危険度も増しており、設置を要望する声も寄せられていることから、その必要性は、十分に認識している。設置費用やランニングコストのほか、風の影響を受ける競技に配慮した仕様等について、引き続き研究していきたい。議員 アリーナに限らず、市



子どもから高齢者まで各種団体が使用する市民体育館アリーナ

内の施設は古くなってきたている。耐震化工事と同時に、エアコン設置をする等、先々を見据えて進めてほしいと考えるが市長の見解は。

**市長** 学校体育館のエアコン設置が今年度で完了するということもあり、次の課題として、市民体育館アリーナへのエアコン設置を考えていく必要がある。また、利用の際には、安全面に配慮した運用をする等、当面の使い方とエアコン設置の検討と両面で取り組んでいく必要がある。

**議員** ぜひ、早期に設置するよう要望する。

### 学校給食のアレルギー対応について

**議員** 現代の子どもたちの間で、食物アレルギーが増加しているが、学校給食のアレルギー対応については、どのようなか。

**教育部長** 本市では、ガイドライン等に基づき、保護者と学校、給食センターの3者間



しょうの こうじ

で個別面談を実施し、原因食物を含むメニューが特定できる献立表を作成して、保護者及び学校へ提供している。学校では、この献立表を基に情報共有を行い、誤食等の事故防止に努めている。

**議員** アレルギーを持つお子さんたちが、楽しい給食の時間を過ごせるよう要望する。

### 本市における路上喫煙対策について

**議員** 非喫煙者が望まない受動喫煙を防止するための有効な対策は、喫煙所を設置し、分煙することと考える。藤駅周辺に新たに喫煙所を整備することについての見解はどのようなか。

**市民生活部長** 課題が多いものと認識しており、喫煙の現状や近隣市における喫煙所設置後の運用状況について、調査・研究をしていきたい。

**議員** 受動喫煙防止の観点から、しっかりと検討し、対策していただきたい。

している。

## 女性の健康課題と 支援について



録画配信

**議員** 乳がんや子宮がんなどの女性特有のがんについては若年化が進んでおり、早期発見・早期治療の重要性が高まっている。現在、乳がん検診は保健センターで集団検診を実施しているが、個別検診として行うことは可能か。

**健康福祉部長** 集団検診の場合は、医療機関での受診に比べ短時間で受診できることや費用面でメリットがある一方都合がつけにくい方がいるという面もある。個別検診を導入することについては、受診率向上に向けた方法の1つとして認識しており、検診の対象者数や医療機関の体制、費用等を勘案して、個別化を含む受診環境の改善に向けた検討をしていく。

**議員** 子宮頸がん検診の若年層への周知・啓発はどのように考えているか。

**健康福祉部長** 紙媒体での周知・啓発にとどまらず、SNS等の活用や、全庁的なDX化の推進に合わせて検討する。

**議員** 若年層にはSNS等の活用が効果的であると考えており、LINEを利用した情報発信を要望する。

骨粗しょう症の危険性や検診の必要性について、啓発活動を行っているか。

**健康福祉部長** 骨粗しょう症検診時にリーフレットを配布したり、骨粗しょう症予防講座の中で啓発している。検診案内やホームページの見直し、講座開設等も含め、啓発内容の充実を検討していきたい。

### 留守家庭児童指導室について

**議員** 留守家庭児童指導室と家庭との連絡のため、コードモンを活用するのはどうか。

**健康福祉部長** 現在、留守家庭児童指導室6室でコードモンを利用している。公設公営の留守家庭児童指導室のICT化において、業務支援システムの導入を考えており、プロポーザルにより選定していく。

**議員** 指導員の資格取得や資



やじま さとこ

質向上のための研修受講の状況や、指導員確保の取り組みはどのようなか。

**健康福祉部長** 放課後児童支援員認定資格の受講資格を満たす指導員に研修を受講してもらうほか、市・県主催の研修等の参加を促している。また、7月には巡回支援指導員によるワークショップ形式の研修を開催した。指導員の確保については、広報紙に募集を掲載するほか、学生アルバイトの募集を行う等の取り組みを行っている。

**議員** 素晴らしい特色のある留守家庭児童指導室を期待する。



保護者も子どもも安心できる留守家庭児童指導室へ



## （新）蕨市立病院におけるソフト面の整備について



録画配信

**議員** ハード面が先行しているが、重要課題であるスタッフの確保及びスタッフへの研修・教育をどう考えるか。

**病院事務局長** 医師派遣は、大学病院や民間事業所の募集等、それ以外のスタッフは、専門学校への案内や当院ホームページ等で募集している。今後も募集先の増加や合同就職説明会への参加等、様々な取り組みで充実を図っていく。また、全スタッフを対象に研修を行っており、10月からはeラーニングによる研修を導入する等、引き続き研修・教育の充実を図る。

**議員** 自らの入院の経験から、弱者になったときの優しさによって真心が通じると感じた。現在も新病院でも、弱っている人に寄り添える病院であってほしいと思うが、方向性をどのように考えるか。

**病院事務局長** 患者に寄り添うことは大切であり、患者をはじめ、地域の皆様に愛され、親しまれる病院を目指している。



く上で、真心の通うような対応をしていくことが重要だと考える。他院を参考に調査・研究しながら、より良い取り組みを行っていききたい。

**議員** 新病院について、個室化や設備等ハードな部分を考えることも大事だが、良い病院、優しい病院、入院したら助けてくれるというソフトな部分が非常に大事である。施設設計と並行して人材確保や人材教育についても考えていただきたい。

**交通弱者の利便性を高めるための総合的な交通政策について**

**議員** 令和元年9月定例会で



こばやし りき

の議員提出議案の可決以降、交通弱者の利便性を高める総合的な地域公共交通政策をどのように検討してきたか。

**総務部長** コミュニティバスのルートの見直しやシェアサイクル事業の実証実験等、地域公共交通の現状の調査や社会情勢の変化に即した交通政策の検討を行ってきた。

**議員** 以前提案したデマンド型交通は、予約がないと運行しないことから運送効率がよく、自治体の費用負担軽減への期待が大きいと考える。デマンド型交通に対する考えはどのようなか。

**総務部長** 課題があり実現は難しいが、将来的に公共交通の在り方が変容してくる可能性があることから、引き続き動向を注視していく。

**議員** 課題はあると思うが、大きな時代の変化の中で、今後とも前向きに「デマンド型交通導入の検討を進めてほしい。

## 一般質問

## 市長マニフェストについて



録画配信

**議員** 市長マニフェストにある「障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携」について、以前「近隣自治体との情報交換を行いながら、研究・検討を継続している段階」との回答があったが、どのような検討を進められてきたか。

**健康福祉部長** 近隣自治体のうち、市内の入所施設がない戸田市の担当課と入所施設整備について情報交換を行ったところであるが、両市の姿勢には温度差もあり、具体的な検討には進んでいない。引き続き、整備に向けた議論を継続していきたい。

**議員** 市長マニフェストに掲げた観点から、障害者入所施設は絶対に設置しなければならぬと思う。国や県の動向を鑑みると、国庫補助金を問題なく受けることができるかが大変不安定であり、民間業者も手を挙げづらい。また、近隣市との理解が得られない

状況であれば、市独自で進めるほかなく、障害者入所施設を入所施設型のグループホームに変更することも選択肢の一つであると考えますが、市長の見解はいかがか。

**市長** 多くの課題がある中で、ふさわしい立地の確保が一番の課題だと思う。入所施設型のグループホームであれば、国の施策に合致し、国庫補助金の対象にもなりやすい。今後は、戸田市との協議を継続し、入所施設型のグループホームの整備も含めて、検討していきたい。

## 中学校部活動における地域移行への対応について

**議員** 中学校部活動の地域移行に向けて、令和7年度以降どのように検討していくか。

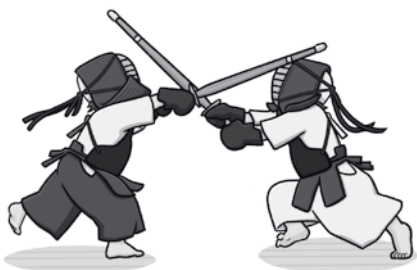
**教育長** 本市における部活動の地域移行・地域連携検討委員会において、地域クラブ活動の基本方針を含め、段階的に種目数を増やす方向で検討を進めている。今後はスポー



おかだ みきお

ッ協会、文化協会をはじめ、市内各種団体の方々との連携を図り、持続可能で多様な環境整備に努める。

**議員** 学校における働き方改革により、令和5年度から部活動が段階的に地域移行を進めていく中で、子どもたちと一緒に汗を流し、応援していただく指導者を確保していくことが重要だと考える。現場の状況をしっかりと把握して、地域移行を進めていただくよう要望する。



現在は陸上・剣道・柔道で休日の地域クラブを実施

# 法改正による子ども・若者のヤングケアラー支援について



録画配信



ほんだ ていこ

**議員** ヤングケアラー支援に関する法改正が行われ、子どもから39歳までを対象に支援をすることが求められた。18歳以上の若者に対し、支援を行う所管はどこか。

**市長** 現在、メインで担当している子ども未来課は、基本的には18歳までの対応を行っているが、18歳以上の若者についても、引き続き子ども未来課でしっかり取り組んでいく。ほかに生活支援課、教育委員会等いろいろな部署にまたがるので、支援が必要の人たちを支援に結びつけることを優先して取り組みながら、法改正にも対応できるよう調査・研究も含めて対応していきたい。

**議員** 子ども・若者育成支援地域協議会の設置についてはどのようなか。

**市長** 実際に協議会をつくるとなれば、具体的な所管を決めることとなり、現在は情報収集している段階である。連携を前提としながら、どの部署がメインで所管していくのか、あるいはより連携した仕組みでの所管が必要なのか、仕組みについても引き続き検討していく。

## マイナ保険証の普及と利用促進等について

**議員** 成人になったからといって簡単に解決しないのがヤングケアラーである。課題解決は難しいかもしれないが、前に進められるよう要望する。

**議員** マイナ保険証（マイナンバーカード）を保有しない高齢者世帯等に、出張申請サポートを行う考えはないか。

**市民生活部長** 昨年度、同様の趣旨の事業を県が実施しており、受託事業者から本市に

協力依頼があったことから、本年3月に老人福祉センターけやき荘において、写真撮影や申請書作成を行う出張申請サポート会場を設置し、申請支援につなげた。この夏以降、市民からマイナンバーカード作成の問い合わせを多くいただいており、今後も同様の出張申請サポートの実施に向け、詳細を検討していきたい。

**議員** マイナンバーカードを活用し、避難者支援業務のデジタル化を導入してはどうか。

**市民生活部長** 現時点では導入の予定はないが、災害対応に係るデジタル技術の活用は重要だと認識している。防災DXについては調査・研究を進め、可能なものは積極的に導入していきたい。

**ほかに「上水道料金のクレジットカード払いの拡充」について要望。**

厚生労働省HPより



# 消防の災害出動状況について



録画配信



とちもと よしかね

**議員** 令和5年中の火災・救急等の災害出動件数はどのようか。また、令和4年との出動件数の比較はどのようか。

**消防長** 火災件数は21件、救急件数は4694件、救助件数は79件。令和4年と比較すると、火災件数は4件増、救助件数は180件増、救助件数は7件減となっている。

**議員** 救急出動件数は増加傾向であり、救急車両は増車されたものの、職員の増員はされておらず、消防隊や救助隊に配置されている隊員が救急隊員を兼務し出動しているのではないかと思う。消防体制の充実・強化は喫緊の課題であり、職員の増員、近隣消防との連携協力、消防の広域化などについて表立って調査・研究するよう提案する。

**議員** 令和5年中の雨量の情報は消防本部で記録しているとのことだが、実情はどのようか。

**消防長** 消防では消防活動に必要な気象に関する諸情報を収集し、参考情報として出動

隊員等に周知する必要があることから、指令施設に気象情報収集装置を設置し、各観測記録データを自動集計している。雨量のほかに風向、風速、気温、湿度、気圧を観測することが可能であり、災害時には市に情報提供を行っている。

**議員** 消防や公共機関で観測している気象情報については15分間隔などのリアルタイムで発表している先進自治体がある。本市も、より身近な地点での正確なデータの発信方法について検討していただくよう要望する。

## 災害対策について

**議員** 指定避難場所の停電対策はどのようか。

**市民生活部長** 市内の防災倉庫等に発電機や投光器などを配備しているほか、燃料となるガソリン缶やカセットボンベを備蓄している。

**議員** 国では、浸水センサを

取り付けの取り組みを行っている。本市において同様の取り組みの実施は可能か。

**都市整備部長** 浸水センサの設置は迅速かつ円滑な災害対応に当たる上で有効なものと考えており、他自治体の事例なども参考にしながら、浸水センサの適切な設置場所や台数、設置費用や維持・管理費などの調査・研究を進める。

**議員** 本市で取得できる情報を市民にも発信することで、防災行動につなげることができると思う。適切な情報を適切なタイミングで提供できるよう要望する。



国土交通省HPより



# 県の水道・下水道料金値上げに 関わる本市への影響



録画配信



みやした なみ

**議員** 県水単価の値上げに至る経緯と今後のスケジュールについてはどのようなものか。

**水道部長** 今年1月に埼玉県

営水道用水購入団体等連絡協議会の役員に対し、県企業局から、今後、給水量の減少、施設老朽化や物価高騰などにより純損失が見込まれることから、料金改定の話があった。県が示しているスケジュールは、本年12月の県議会で、改正条例案を上程する予定。

**議員** 配水に係る管路のうち、最も重要な基幹管路及び重要施設配水管路の耐震化率と、

老朽管の解消状況についてはどのようなものか。

**水道部長** 令和5年度末現在、

基幹管路が99・4%、重要施設配水管路92・8%で、今年度末には95・0%になる予定。また、管路延長のうち、法定耐用年数40年を超えた延長割合は、令和5年度が1・26%となっている。

**議員** 市として、値上げ幅を最小限にする努力をしていたかどうか。

下水道事業について、令和7年度に計画されている維持管理負担金の引上げは、下水道使用料改定につながら、市民の負担増が危惧される。見解はどのようなものか。

**都市整備部長** 荒川左岸南部流域下水道維持管理負担金については、5年ごとに見直しが行われ、現在は令和7年度からの単価改定の作業途中である。県からは電気料金や、

労務単価、下水道資材単価の物価高騰等の影響に

より、単価を値上げしたいとの説明があり、現在、協議を行っている。

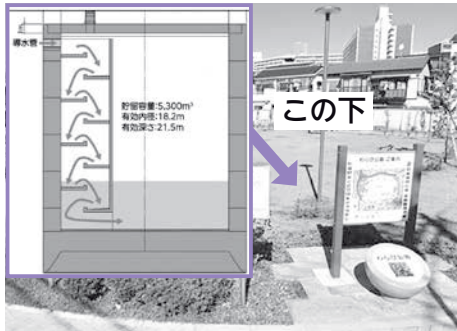
**議員** 集中豪雨等で水害に遭わなかったための対策について、昨年6月議会で取り上げ、問題提起と提案してきた。その後の検討等、進捗状況についてはどのようなものか。

**都市整備部長** 北町1丁目雨水調整池では、24時間から13時間で全て排水できるよう改善を行ったほか、土のうステーションをこれまでの7か所から、各地域1か所、計5か所増設する等、浸水被害の軽減対策に努めている。

**議員** 市民に分かりやすく、内水ハザードマップに圧力開放蓋の写真等の掲載を提案したが、進捗状況は。

**都市整備部長** 内水ハザードマップ改定の際は、圧力開放蓋の写真掲載を検討したい。

**議員** 水道、下水道事業は、命に関わる大切なことなので、そのことを忘れずに事業を進めて行くよう要望する。



わらび公園（北町）地下の雨水調整池

## 一般質問

# 高齢おひとりさまへの支援を考える 〜終活相談窓口や居場所づくりなど〜



録画配信



おいし けいこ

**議員** 令和2年の国勢調査で、本市の高齢者単独世帯（高齢おひとりさま）の割合は35・1%で、高齢夫婦世帯を上回っており、その割合は県より高い。人生の最終段階において、家族との関係が希薄であったり、身寄りがいない高齢者への支援はどのようなものか。

**健康福祉部長** 見守り活動や通常の相談対応と併せて、孤立・孤独者への個別相談対応を実施しているほか、マイエ

ンディングノートを作成し、周知・配布している。また、成年後見制度に関する情報提供

供や身寄りのない方等について市長申立ての実施、緊急通報サービス事業、生活支援を目的とした有償ボランティア事業、安否確認を兼ねた配食サービスやふれあい収集事業を行っている。

**議員** 増加する高齢おひとり

さまに、終活コンサルジュ（案内人）の配置やおひとりさま施策推進係の創設、支援条例の制定など積極的に施策を進めている自治体もある。行政がどれほどの支援ができるかが大事である。

社会的孤立は寿命を縮めるという調査結果がある。居場所づくりとして公園の整備や公的施設でのカフェ設置などの考えはどのようなものか。

**市長** 超高齢社会を迎え、単身世帯が増える中で、居場所づくりを進め、参加しやすい環境をつくることは非常に大事だと考える。スマートフォンを

シシティを進める中で、



おひとりさまの相談にコンサルジュの導入を

公園の健康遊具はさらに増やしていく。また、提案いただいたけやき荘のカフェについても、心地よい場所になるよう環境整備をしていきたい。

**第2期データヘルス計画について**

**議員** 特定健診受診率アップにナッジ理論（本人が無意識に良い選択をするよう誘導する理論）をどのように活用しているか。

**市民生活部長** なかなか受診いただけない方にきっかけを与えるために、受診勧奨の通知、リーフレット等に4つの考え方に基づいたナッジ理論を活用している。

**議員** 医療費はがんや筋骨格系の疾患が高くなっており、特定健診以上にがん検診などの受診率を上げていくことが重要。検診期間は真夏を避け、居住地域の近くで受けられる受診環境整備をお願いする。

また、巡回型の栄養相談、健康相談の実施を要望する。

# 県国保運営方針への対応 とくらしへの影響



録画配信



すずき ざとし

**議員** 負担増につながる県運営方針について目標年次の見直しなど求めていく考えはないか。また、子どもの均等割減免についての見解は。

**市民生活部長** 県には、令和9年度の国保税水準の準統一について、その妥当性・公平性を国のプランに照らして検証すること、見直しを検討することを要望した。子どもの均等割減免では実施の可否について検討が必要。国に制度の拡充など要望していく。

**議員** 国保被保険者の状況について、所得階層別世帯数の構成及び所得階層別での滞納世帯割合はどのようなか。

**市民生活部長** 所得階層別世帯数は所得100万円以下6184世帯、100～300万円3832世帯、300万円超1497世帯。

**総務部長** 滞納世帯割合は所得100万円以下で24・5%、100～300万円21・7%、300万円超15・8%。  
**議員** 国保加入者は、比較的



水道事業を支える蕨市の施設（塚越浄水場）

低所得層が多い一方で、多額の医療費を要する年齢層も多く、構造的な問題が指摘されている。負担増を抑える対応と、子どもの均等割り減免制度について改めて要望する。

## 水道・下水道事業にかかわる県方針と影響

**議員** 県の水道用水供給事業の料金、下水道事業の維持管理負担金について値上げが伝えられているが、内容及び今後の計画はどのようなか。

**水道部長** 県からの水道用水において約23%引き上げる料

金改定方針が示された。12月県議会に条例改定を上程し令和8年4月の改定を予定。

**都市整備部長** 下水道事業の維持管理負担金は5年ごとに単価の見直しが行われ、現在県と令和7年度からの単価の改定作業途中。値上げしたいとの説明がされている。

**議員** 影響はどのようなか。また、市民の負担増を避ける対応を検討する考えはないか。

**水道部長** 市では、令和5年度の入水量ベースで約7400万円の負担増。水道事業の健全性を維持するため料金改定を含めた対応の検討が必要。

**都市整備部長** 値上げ幅に応じ、市に数千万円の負担増が生じる。市民への影響を考慮しながら適正な下水道使用料について検討したい。

**議員** 水は人にとって欠かせない。県に値上げの見直しを求めることも、料金改定では慎重な対応を求める。

**ほかに** 「障がい者入所施設の整備」等について質問。

# 「子育てするならわらび」 子育て支援策について



録画配信



やまわき のりこ

**議員** 市長就任時と比較して、保育園・留守家庭児童指導室の箇所数と定員の推移はどうか。また、待機児童数の変化はどうか。

**健康福祉部長** 市長就任時の平成19年度は、保育園は公立5園、定員600人が、現在は、民間10園で定員734人、小規模保育園が13園で定員227人、合計28園、定員1561人。留守家庭児童指導室は、平成19年度は7室で定員290人が、現在は公設16室で定員605人、民間5室で定員190人、合計21室、定員795人。保育園では、平成27年度の待機児童数は33人が、今年度はゼロとなる。留

## 水害対策について

守家庭児童指導室は、平成27年度の待機児童数は23人が、今年度はゼロとなる。

**議員** 南町ポンプ場は一定水量を超えるとすぐに桜並木の暗渠から雨水が溢れることから、道路冠水や民家への被害が懸念されるが、対応策はどうか。雨水貯留施設を設置する考えはないか。

**都市整備部長** 集中豪雨などにより放流先である緑川に排水能力を超える雨水が流入した場合、南町ポンプ場からの放流水も流れづらくなり、暗渠も満水状態となるために、その蓋の隙間から雨水が溢れると認識している。管理者である埼玉県に、緑川の拡幅整備等の推進を要望していく。

まだ整備が完了していない錦町地区の雨水管渠や雨水調整池の整備、検討を進めており、慎重に対応していきたい。

**市長** 大事な課題ではあるの

で検討していきたい。

## 公園や樹木等整備について

**議員** 南町桜並木遊歩道等の樹木は年数が経過し、太い枯れ枝の落下や老木による倒木の心配が市民から頻りに指摘されている。専門的な点検や安全な対応をしてほしいと思うがどうか。

**都市整備部長** 令和5年度に、樹木医による樹木の状態を確認する診断を実施。その結果、2本の桜の伐採を実施した。今後は、診断結果をもとに樹勢状況の経過観察を続けながら、適切な樹木管理に努める。

**議員** 南町には金網がある大きな公園が3つあるので、ルールを作って、まずは南町からボール遊びができる公園を設置する考えはどうか。

**都市整備部長** 南町には比較的大きな公園があるので、新たなルールづくりや、すみ分けをするなど整備を検討していきたい。



# 市の残業代1.6億円の削減とDX推進を！



録画配信



かなまる けんじ

**議員** 昨年度の時間外勤務手当の総支給額はどのようか。

**総務部長** 1億6014万2424円である。

**議員** 庁内DXやワーク・ライフ・バランスの推進で残業代を削減できれば、新しい市政サービスに充てられる。先進企業が無料講演会や体験会も行っているの、ぜひ取り組んでほしい。

**市民向けの蔵市公式LINEの導入について**

**議員** 導入に向けたスケジュールはどのようか。

**総務部長** 庁内連絡会議において議論を深め、来年度上半期を目途に運用を開始したい。

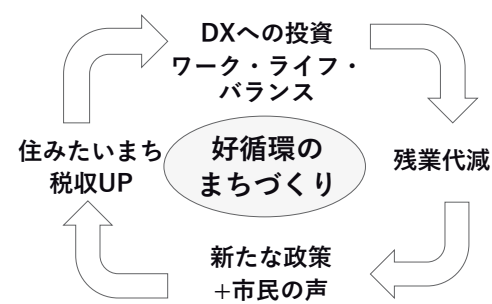
**議員** 導入により市民の情報を取り方が変わらと思うので、要望をお伝えしたい。①イベント情報は写真を多く使うなど、魅力発信と参加者向上につなげてほしい。②公式LINEから市のホームページに飛ぶと、どこに何があるのかわかりにくいので整理をお願い

する。③他市のようにシステムを導入し「降水量の見える化」をしてほしい。市民に冠水に備えていただく意味でも重要だと思う。消防署は降水量のデータを持っているが、担当課は人力で消防署に問い合わせられていて、災害時でもそこに人員が割かれてしまう。担当課が多いため市長のリーダーシップを進めていただきたい。④導入後には市民の声を聴き、配信方法などを改善する前提で進めてほしい。

**子どもたちの願いと悲痛な叫びに応える蔵へ！**

**議員** こども計画策定に向けた、子どもの意見聴取の結果はどのようか。

**健康福祉部長** 数%のヤングケアラーの可能性のある児童・生徒がいること。また、両親の喧嘩や父からの暴力、友達からのいじめや人間関係の悩みなど、深刻な悩みの記載もあった。また、ボール遊びのできる公園がほしい、公



園に滑り台やブランコなど大型の遊具を増やしてほしいといった公園に関する意見や、児童館、図書館などに関する意見もあった。  
**議員** 市長と教育長には、悲痛な声への早急な対応をお願いする。また、こども家庭庁からは児童館の運営に中高生が携わることで、利用が10倍になったとの事例も紹介されている。最少の経費で最大の住民福祉を実現するためにも、市内外の事例を取り入れていただくようお願いする。

## 一般質問

# 「今からできることは先に進める」先を見据えた施策を！



録画配信



まえかわ やすえ

**市立病院の赤字決算分析及び電子カルテ導入などについて**

**議員** 令和5年度の赤字決算の要因は何か。

**病院事務局長** 主な要因は入院患者の減少であり、整形外科については増加したものの、それ以外の診療科では減少し、特に外科や産婦人科で大きく減少した。また、外来においては、小児科や耳鼻咽喉科等で増加したものの、内科、産婦人科、人工透析科で減少し、特に内科は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う影響から患者数は大きく減少した。

**議員** 赤字解消に向けた取り組みについてはどうか。

**病院事務局長** 入院収益を上げることが最大の課題であると考えており、入院にもつながる救急の受け入れや、医療連携の充実に取り組んでいる。また、特定健診の受付時間を変更し、受診者増加につなげている。収益を上げていくためには、常勤医師の確保が大

切であり、最優先に取り組んでいる状況である。  
**議員** 新病院の設立に向けて、電子カルテ導入の考えは何かか。

**病院事務局長** 現在、医療機関において電子カルテの導入率は、200床未満の医療機関等で約50%である。今後の医療DXの流れでは、電子カルテ導入は必要だと考えており、導入のタイミングを総合的に考えていきたい。

**トイレや雨漏り、外壁塗装などの学校環境整備計画について**

**議員** 学校環境整備計画についてはどのようか。

**教育部長** 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、改修計画等を検討している。教育委員会では、環境改善を目的に、学校トイレの改修を最優先で進めており、今後は並行して他の改修等も検討していく。

**議員** 昨今、PTA組織がなくなってきた状況下で、

保護者からの要望についてはどのように対応しているか。  
**教育部長** 学校施設・設備への要望については、学校を通じて教育委員会が把握するものと、教育委員会に電話や手紙等で直接要望いただくケースがある。要望の内容を丁寧に聞き取り、現場確認等、実態の把握に努めている。  
**議員** 学校施設・設備等の現状について、保護者へ明確な回答をしていただけるよう要望する。



新市立病院における電子カルテの導入で医療の質の向上と業務の効率化を

## きめ細やかな教育環境の充実を



録画配信

**議員** 市独自に行ってきた、小学校の35人程度学級は国が対応するようになり、市の事業としては本年度で終了する。市が使ってきた費用を使わなくなるので、30人程度学級等さらなる少人数学級を進め、きめ細やかな教育を行う考えはないか。また、スクール支援員や特別支援教育支援員を増員すれば、先生の負担軽減や困難を抱える子どもに行き届いた教育が可能だと考えるがいかがか。

は、市長が判断すれば実現できる。強く要望する。

### 蕨高校通り商店街解散後の街路灯管理について決着を

**議員** 蕨高校通り商店街の解散後、商店街が設置した街路灯の管理について、市と後継団体との話し合いが続いている。街路灯を撤去するといくらかかるのか。

**市民生活部長** 40基を全て撤去すると1000万円単位の費用がかかる。

**議員** 誰も管理をしなくなり、市民に危険が及ぶことのないよう、早期の決着を望む。

**市長** 原則論として商店街か



蕨高校通り商店街にある街路灯管理責任の所在について最終決着を

**議員** 支援員の増員について

35人程度学級については、国も重要性を認識し、法改正を行い順次導入している外国と比較するとまだ1学級の人数は多いので、国の制度としては必要だと思う。さらなる少人数学級は考える施策ではあるが、支援員の増員も含め、不登校問題やICT教育など教育全体の課題として何を優先していくのか、教育委員会と話し合いながら進めていきたい。



えのもと かずたか

ら申請があり、道路の占用許可を市が出し、商店街の所有物として街路灯を作った。やめるときは責任を持って撤去まで行つのが大原則。その立場でこれまで協議してきた。原則論を踏まえつつ、責任の所在が曖昧にならないよう、また、倒壊等の危険の問題や地域の明るさ維持の面からもしっかりと対応していきたい。

### ネットカフェにおける住民登録の現状は

**議員** 現在、蕨駅西口のネットカフェに住民登録している方は何人か。

**市民生活部長** 7人。

**議員** 今は新規登録を受け付けていないが、いつからか。

**市民生活部長** 平成30年から新規登録を実施していない。

**議員** 少なくともこの7人の方は数年間、1.5畳のスペースで生活を続けている。市として積極的に接触し、生活立て直し等をしてもらうべきではないか。

## 多様な行政課題への自治体の対応と取り組みについて



録画配信

**議員** 人財育成基本方針の改定状況及び改定の方向性はどのようなか。

**総務部長** 平成24年1月に策定以降、方針の見直しは行われていなかったが、社会情勢の変化や本市を取り巻く環境が時々刻々と変化していく中、より良い人財を育成・確保する観点からも方針の見直しが必要であると判断し、庁内の検討委員会を設置して人財育成基本方針の改定に向け検討している。

ついてはどのようなか。

**議員** 市内一斉の清掃活動を行う等の取り組みを進めている。また、事業者においても自発的な清掃活動等を行っていただけており、引き続き市民や事業者及び市が一体となり、地域の環境美化を推進していく。

**議員** 収入減をカバーするために特別休暇を創設したり、育児休業を取得した人の業務を負担する職員の成績率を上げる運用を行っている自治体もある。先進自治体にならないが、本市ならではの取り組みに昇華させてほしい。

**議員** 市内の路上喫煙禁止区域と区域外のたばこのポイ捨て状況をどのように把握しているのか。

**議員** 男性の育児休業の取得状況が伸び悩んでいることに

**市民生活部長** 路上喫煙禁止区域は、委託業者が巡回指導及び清掃を実施しており、以前よりたばこの吸い殻のポイ捨ては減少していると同った区域外については担当職員が現場で状況を確認している。

**議員** 市民や事業者との協働はどのように進めているか。

**議員** 個人のマナーやモラルに関わって、ポイ捨てをためらわせるまちの空間づくりが重要だと考える。蕨駅西口再開発事業等といった機会を捉えて、きれいなまちづくりを改めて強調し、環境美化の取り組みが楽しくなるよう努めていきたい。



育児休業の取得しやすい職場環境づくりを

**議員** 市民や事業者との協働はどのように進めているか。

**議員** 個人のマナーやモラルに関わって、ポイ捨てをためらわせるまちの空間づくりが重要だと考える。蕨駅西口再開発事業等といった機会を捉えて、きれいなまちづくりを改めて強調し、環境美化の取り組みが楽しくなるよう努めていきたい。



たけした りょう



# 議会報告会を開催しました

第9回となる今年度の議会報告会は、令和6年11月7日の19時から西公民館において開催しました。当日は、40人の方々にご参加いただき、その様子はリアルタイムで配信を行いました。当日、ご参加・ご視聴いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

また、議会報告会の様子は、ケーブルテレビ「ウインク」で放送したほか、インターネットで録画配信をしています。ぜひご覧ください。

## ～第9回議会報告会の内容～



○議長あいさつ、議会のしくみ等の紹介

○総務・環境福祉経済・教育まちづくり各常任委員会の報告

○蕨市立病院建替え整備特別委員会の報告

○質疑応答・意見交換

## ◆◆◆各委員会の報告テーマ◆◆◆

### ○総務常任委員会

- ①市民課窓口のデジタル化について
- ②災害対策の取り組みについて
- ③令和5年度決算における市税について

### ○環境福祉経済常任委員会

- ①地球温暖化対策について
- ②子育て支援の充実について

### ○教育まちづくり常任委員会

- ①学校体育館への空調設置について
- ②錦町地区のまちづくりについて
- ③蕨駅西口地区市街地再開発事業について

### ○蕨市立病院建替え整備特別委員会

特別委員会設置の経緯及びこれまでの協議事項について



## インターネットで 録画配信中！



こちらのQRコードを読み取ると、議会報告会の録画配信などを視聴することができます。



議員派遣報告

第86回全国都市問題会議

健康づくりとまちづくり  
市民の一生に寄り添う都市政策

10月17・18日の2日間にわたり、全国の市長、市議会議員等が参加し、都市の抱える問題や地方自治の在り方について議論する「第86回全国都市問題会議」が姫路市で開催され、本市議会から5名の議員が参加しました。

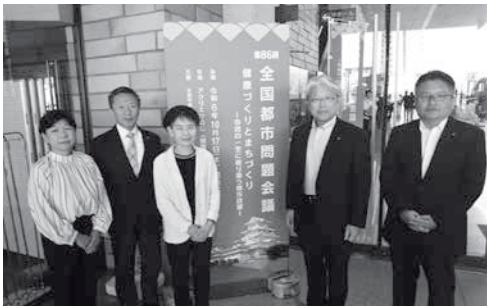
今回の会議は「健康づくりとまちづくり」市民の一生に寄り添う都市政策」をテーマに、住民の健康づくりへの支援が社会的課題となっている中、健康づくり政策の検討、自治体の役割、今後展開されるべき方向等の視点から先進事例や研究成果の報告、パネルディスカッションが行われました。スマートウエルネスシティを掲げる本市にとって非常に参考となる内容でした。

1日目は、福岡伸一・青山学院大学教授より「生命を捉えなおすー動的平衡の視点からー」をテーマに基調講演が行われました。「生命」を、食物の分子が体を構成する分子と絶え間なく交換され続けるものと捉える「動的平衡論」を紹介し、まちづくり等との関連性を示唆しました。主報告を行った清元秀泰・姫路市長より「市民の『LIFE』（命・くらし・一生）を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり」をテーマに講演が行われ、「健康がまちの活力を生み出す」と強調し、健康やまちづくりに関わる姫路市の様々な施策に

ついて紹介しました。

その他に、「生き物から学ぶ健康なまちづくり」をテーマとする谷口守・筑波大学教授、「都心から一番近くの緑のまち」として都市の魅力を増進してきた井崎義治・流山市長、姫路市の健診結果データのファジィ値による解析等に取り組んだ畑豊・兵庫県立大学副学長が報告しました。

2日目は、宮本太郎・中央大学教授をコーディネーターに、今回のメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われました。4人のパネリストが、子どもの健康とまちづくり、栄養パトロールの取り組み、三つの健康（人、社会インフラ、データ）を進める長野県茅野市の取り組み、大阪府泉大津市の健康づくり推進条例の制定と実践等、それぞれの視点から発言し議論を深めました。



蕨市議会における 本会議・委員会 について



◆本 会 議◆

本会議は、議員全員で構成され、議案が提出された後、質疑、討論、採決などが行われ、市議会の意思を決定する会議です。本会議の種類には、定期的に招集される「定例会」と、必要がある場合に招集される「臨時会」があります。

蕨市議会では、定例会については、3月・6月・9月・12月の年4回招集され、臨時会については、特定の事件に限ってこれを審議するために招集されるため、必要があれば回数に制限なく招集することができます。

◆委 員 会◆

市議会で取り扱う内容は幅広く複雑であるため、審査する内容をいくつかの分野に分けて、専門的、能率的に委員会で審査を行います。

委員会は、常任委員会、議会運営委員会、必要がある場合に設置される特別委員会があります。

蕨市議会には現在、「総務常任委員会」、「環境福祉経済常任委員会」、「教育まちづくり常任委員会」、「予算決算常任委員会」、「議会運営委員会」、「蕨市立病院建替え整備特別委員会」が設けられています。

12月定例会の日程（予定）

11月27日（水）開 会	11日（水）一般質問
29日（金）議案質疑・委員会	12日（木）//
12月 2日（月）委員会・分科会	13日（金）一般質問・委員会
3日（火）委員会・分科会	17日（火）閉 会
4日（水）委員会・分科会	

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

9月25日「12月発行号の概要、議会報告会について」

11月14日「12月発行号の最終確認、議会報告会について」



## 14